

東北自動車道

下衣川高架橋床版更新工事発注用図面作成

特 記 仕 様 書

令和 6 年 9 月

東日本高速道路株式会社 東北支社
管理事業部 構造設計チーム

目 次

	頁
第1章 総則	
1－1 調査等概要	1
1－2 適用する共通仕様書	1
1－3 テクリスへの登録	2
1－4 履行期間	2
1－5 資料の貸与	3
1－6 受注者相互の協力	3
1－7 計画工程表	3
1－8 調査等打合簿の作成及び提出について	4
1－9 工事記録情報の作成及び提出について	4
第2章 業務細部に関する事項	
2－1 業務の概要	5
2－2 工事発注用図面作成	5
2－3 設計打合せ	8
2－4 交通費・日当・宿泊費	8
2－5 電算機使用料	9
第3章 補足事項	
3－1 設計図書の変更及び追加が予想される内容	9
添付資料	
様式－1 履行期間通知書	
様式－2 計画工程表	
様式－3 工事記録情報 完了届	

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 東北自動車道 下衣川高架橋床版更新工事発注用図面作成

1-1-2 道路名 東北自動車道

1-1-3 履行箇所 東北支社管内

1-1-4 主な履行内容

【対象橋梁】

道路名	I C間等	橋梁名	上部工形式	上下線
東北自動車道	一関I C～平泉前沢I C	下衣川高架橋 (P1～A2)	R C 3 径間連続中空床版 2 連	上り線
			R C 3 径間連続中空床版 2 連	下り線
		滝ノ沢橋	P C 単純合成桁 1 連	上り線
		江釣子橋	P C 単純合成桁 1 連	上り線
		古川橋	P C 単純合成桁 1 連	上り線
			P C 単純合成桁 1 連	下り線

【履行内容】

内訳書の項目	数量	単位	備 考
工事発注用図面作成			
橋梁上部工 A 1	1	連	R C 3 径間連続中空床版
橋梁上部工 A 2	1	連	R C 3 径間連続中空床版
橋梁上部工 B 1	1	連	R C 3 径間連続中空床版
橋梁上部工 B 2	1	連	R C 3 径間連続中空床版
橋梁上部工 C	1	連	P C 単純合成桁
橋梁上部工 D	1	連	P C 単純合成桁
橋梁上部工 E	1	連	P C 単純合成桁
橋梁上部工 F	1	連	P C 単純合成桁
電算機使用料	1	式	
設計打合せ	1	式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和6年7月版とする。

1－3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1－12－4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が 100 万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（１）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内

（２）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内

（３）完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 15 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1－4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1－13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式－1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 110 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 500 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
対象橋梁の完成図	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (TIFF データ)
床版更新設計事例	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで、夏期休暇（3 日）を除く。

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
東北自動車道 歌内川橋床版更新工事発注用図面作成	令和 5 年 1 1 月 2 8 日～ 令和 6 年 1 1 月 2 1 日	日本工営 (株)	東日本高速 道路(株)	隣接施行
八戸自動車道 漆畑橋床版更新工事発注用図面作成	未定	未定	東日本高速 道路(株)	隣接施行
八戸自動車道 滝野橋床版更新工事発注用図面作成	未定	未定	東日本高速 道路(株)	隣接施行

1-7 計画工程表

1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式—2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項 目	対象構造物	備 考
工事発注用 図面作成	橋梁上部工 A 1 A 2	下衣川高架橋（上り線）	R C 3 径間連続中空床版×2 連
	橋梁上部工 B 1 B 2	下衣川高架橋（下り線）	R C 3 径間連続中空床版×2 連
	橋梁上部工 C	滝ノ沢橋（上り線）	P C 単純合成桁
	橋梁上部工 D	江釣子橋（上り線）	P C 単純合成桁
	橋梁上部工 E	古川橋（上り線）	P C 単純合成桁
	橋梁上部工 F	古川橋（下り線）	P C 単純合成桁

1－7－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1－9 工事記録情報の作成及び提出について

（1）共通仕様書 1－4 4－1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。

（2）受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式－3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

（3）工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路(株)東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の概要

本業務は、本特記仕様書1-1-4「主な履行内容」に示す対象橋梁について、床版更新工事における工事発注用図面作成を実施するものである。

2-2 工事発注用図面作成

2-2-1 適用

工事発注用図面作成とは、対象橋梁の建設時設計資料等に基づきP C橋及びR C橋の老朽化対策として、床版更新を実施するにあたり、設計計画、設計計算、線形計算、数量算出、図面作成、計画概要書作成を行うものである。

なお、本特記仕様書2-2-1（2）設計計算によらない構造図面の作成は、本特記仕様書1-5「資料の貸与」で示す成果品を準用し、配筋図等構造細目を変更せず行うものとする。

（1）設計計画

受注者は、設計図書及び監督員の指示に従って、対象橋梁の建設時設計資料等に基づき、施工性を考慮し、当該構造物の床版更新のための工事発注用図面作成の方法を計画するものとする。

（2）設計計算

対象橋梁の建設時設計資料や設計事例等に基づき、詳細な計算は省略するものとする。構造計算が必要となった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。ただし、図面作成にあたり、次の事項については簡易な応力計算により算定するものとする。

- ・R C中空床版橋の既設床版の撤去及び新設床版の施工時に主桁を支持する支保工の設計を行う。支保工による上部工仮受け時における主桁の照査は実施しない。

（3）線形計算

共通仕様書5-7-3「基本設計」（3）に準じ実施する。

（4）図面作成

- 1）当該構造物の建設時設計資料等を準用し、床版更新の形状、主要寸法及び使用材料の種別及び数量を把握できる程度の図面を作成するものとする。
- 2）設計図面の範囲及び内容は、下表のとおりとする。

図面種別	図面の内容
使用材料表	
橋梁位置図	平面図
一般図	建設時及び更新後の一般図を作成し、設計条件及び主要材料の許容応力度を記入する。
線形図	計算座標位置図、計算数値表
構造一般図	骨組図または外形図
床版配筋図	割付図、標準断面図、配筋図

壁高欄配筋図※		割付図、標準断面図、配筋図
撤去工図		舗装及び既設床版の撤去工図
付属物撤去・設置図	撤去	割付図
	設置	割付図 標準構造図（橋面工、伸縮装置、排水装置、検査路、橋名板及び橋歴板、防護柵（土工部擦り付け）、遮音壁、通信管路、落下物防止柵、はく落対策、表面保護工）

※プレキャスト壁高欄の配筋図は不要とする。

- 3) 床版配筋図及び壁高欄配筋図においては鉄筋の加工図は不要とする。
- 4) 付属物撤去・設置図は建設時設計資料等より、床版更新に伴い撤去・再設置が必要な付属物の数量を算出し、平面図にその割付図を示すものとする。設置にあたっては、撤去時と同数量の割付図を作成し、標準構造図は建設時と同等程度の現存する仕様・規格等の図面を作成するものとし、構造詳細図は作成しない。

(5) 計画概要書

計画概要書には、次の検討事項を記載するものとする。

- 1) 床版更新の規模及び決定根拠
- 2) 道路、鉄道、河川等との横過条件
- 3) R C 中空床版橋における支保工の検討内容及び問題点
- 4) 概略の施工順序、施工方法及び問題点
- 5) 工程短縮を考慮した既設床版等撤去及び新設床版施工におけるクレーンの規模・台数・配置位置、はつり作業、打設等の施工計画検討

(6) 数量算出

数量算出は、土木設計数量算出要領により行うものとし、工事の積算に必要な材料の数量を計算するものとする。

2-2-2 内訳書の区分

工事発注用図面作成の内訳書の区分は、下表のとおりとする。

種 別	類似 区分	数量 (連)	設計条件	設計 区分	備 考
橋梁上部工A 1 ※橋梁上部工 A2を準用	D	1	設計長 (桁長) : 45.915m 有効幅員 : 10.000m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 73° 06' 13" ~85° 24' 59"	工事発 注用図 面作成	下衣川高架橋 (上り 線) P1~P4 (床版全層打替え)
橋梁上部工A 2	A	1	設計長 (桁長) : 47.950m 有効幅員 : 10.000m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 85° 24' 59" ~90° 00' 00"	工事発 注用図 面作成	下衣川高架橋 (上り 線) P4~A2 (床版全層打替え)
橋梁上部工B 1 ※橋梁上部工 A2を準用	D	1	設計長 (桁長) : 45.915m 有効幅員 : 10.000m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 73° 06' 13" ~85° 24' 59"	工事発 注用図 面作成	下衣川高架橋 (下り 線) P1~P4 (床版全層打替え)
橋梁上部工B 2 ※橋梁上部工 A2を準用	E	1	設計長 (桁長) : 47.950m 有効幅員 : 10.000m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 85° 24' 59" ~90° 00' 00"	工事発 注用図 面作成	下衣川高架橋 (下り 線) P4~A2 (床版全層打替え)
橋梁上部工C	A	1	設計長 (桁長) : 33.300m 有効幅員 : 10.750m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 58° 30' 00"	工事発 注用図 面作成	滝ノ沢橋 (上り線) A1~A2 (床版全層打替え)
橋梁上部工D	A	1	設計長 (桁長) : 26.130m 有効幅員 : 11.781m ~11.263m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 72° 30' 00"	工事発 注用図 面作成	江釣子橋 (上り線) A1~A2 (床版全層打替え)
橋梁上部工E	A	1	設計長 (桁長) : 21.556m 有効幅員 : 10.760m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 87° 44' 00"	工事発 注用図 面作成	古川橋 (上り線) A1~A2 (床版全層打替え)

橋梁上部工F ※橋梁上部工 Eを準用	E	1	設計長（桁長）：21.556m 有効幅員：10.760m 設計活荷重：TL-20、TT-43 斜角：87° 44' 00"	工事発 注用図 面作成	古川橋（下り線） A1～A2 （床版全層打替え）
--------------------------	---	---	--	-------------------	--------------------------------

なお、表中における類似区分とは、共通仕様書 5－7－6「類似構造物の取扱いによる設計区分」《上部工》によらず、下表のとおりとする。

区 分	作業内容	摘 要
A	類似構造物の基準となる構造物で設計計画、設計計算、図面作成、数量計算、設計照査を行う設計をいう	
D	区分Aの設計計画に基づき、区分Aの設計計算、図面作成、数量計算の大部分を準用し成果品を作成する設計をいう	
E	区分Aの設計計画及び区分Aの設計計算に基づき区分Aの図面の一部を修正し、数量計算を行い、成果品を作成する設計をいう	設計計算及び線形計算は行わない。区分Aの図面修正及び数量算出のみ。

※構造計算が必要となった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

2－2－3 成果品

共通仕様書 5－7－7「成果品一覧表」の基本設計に準ずるものとする。

2－3 設計打合せ

設計打合せは下記のとおり行うものとする。

- （１）業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- （２）打合せは、東日本高速道路株式会社東北支社で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- （３）打合せの回数は業務内容確認検査を含め５回とする。打合せの検測数量は１式とし、履行状況により打合せ回数が増減した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2－4 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費とは、本特記仕様書 2－3「設計打合せ」に示す打合せの実施に当たり必要となる交通費・日当・宿泊費をいう。

2-5 電算機使用料

電算機使用料とは、本業務で実施する工事発注用図面作成に必要な電算機使用料をいう。内訳書の項目の区分は下表のとおりとするが、監督員が必要と判断した場合は数量変更及び追加を行うものとする。

内訳書の項目	数 量	備 考
工事発注用図面作成 電算機使用料A 1	1 式	下衣川高架橋（上り線）P1～P4
工事発注用図面作成 電算機使用料A 2	1 式	下衣川高架橋（上り線）P4～A2
工事発注用図面作成 電算機使用料B 1	1 式	下衣川高架橋（下り線）P1～P4
工事発注用図面作成 電算機使用料C	1 式	滝ノ沢橋（上り線）
工事発注用図面作成 電算機使用料D	1 式	江釣子橋（上り線）
工事発注用図面作成 電算機使用料E	1 式	古川橋（上り線）

第3章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関連する事項の業務内容を変更又は追加する場合があるため、受注者は監督員と緊密な連絡をとるとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。この場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

- （1）関係機関協議等に伴う施工方法の変更

以 上

1 設計業務

(全体履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)
(実履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

項 目	日 程	計 画 準 備																																																																																																																								備 考
		○月					○月					○月					○月					○月					○月					○月					○月					○月																																																																																
1. 設計計画																																																																																																																										
2. 既往資料の確認・整理																																																																																																																										
3. 現地調査																																																																																																																										
4. 設計条件の整理																																																																																																																										
5. 道路詳細設計																																																																																																																										
①縦断設計																																																																																																																										
②平面図作成	・路線図・平面図・線形図・伐間除根求積図																																																																																																																									
③縦断面作成																																																																																																																										
④横断面作成																																																																																																																										
⑤土積図作成																																																																																																																										
⑥用排水設計																																																																																																																										
6. 附帯工設計																																																																																																																										
①溝渠工設計	・ボックスカルバート、パイプカルバート等																																																																																																																									
②擁壁工設計																																																																																																																										
③詳細図作成																																																																																																																										
④図面修正	・平面図・縦断面图等																																																																																																																									
7. 数量計算																																																																																																																										
8. 概略施工計画																																																																																																																										
9. 施工への送り事項																																																																																																																										
10. 照 査																																																																																																																										
11. 報告書作成																																																																																																																										
12. 監督員による成果品確認																																																																																																																										
13. 電子成果品作成																																																																																																																										
14. 設計打合せ																																																																																																																										
15. 業務検査																																																																																																																										

2 関連業務資料

[illegible]

3 貸与資料

[illegible]

4 關係機關協議

[illegible]

4 その他懸案事項

[illegible]

5 協議內容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント(記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること)

- ① 適切な工程管理（履行期の確保）を目的とする。
- ② 関連する業務や設計業務などに関する関係機関協議による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間に及ぼすことのないよう、資料入手・条件提示・対外協議の期限を明確化する。
- ③ 協議時期・内容（結果）を工程表に明示することにより、打合せ時期・内容上の遅れがないよう確認する。
- ④ 照査の時期と内容（結果）を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した照査作業が実施されていると確認する。
- ⑤ 本工程表は作業計画書に添付するとともに、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計上の防犯、品質の確保を図る。

⑥ なお、本書式は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを基本とする。

※作成時の留意事項

- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
- ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。
- ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

6 照查内容

照査時期、照査内容、照査結果	照査① <ul style="list-style-type: none"> ・照査時期：基本条件、設計条件検討時 ・照査内容：基本条件の照査 ・照査結果： 	照査② <ul style="list-style-type: none"> ・照査時期：設計方針、最終形式案決定時 ・照査内容：細部条件の照査 ・照査結果： 	照査③ <ul style="list-style-type: none"> ・照査時期：成果品納入前 ・照査内容：成果品の照査 ・照査結果：
----------------	--	---	---

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 東北自動車道 下衣川高架橋床版更新工事発注用図面作成

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員
_____ 殿

受 注
管理技術者
_____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名		東日本高速道路(株) 東北支社 構造設計チーム	
調 査 等 名		東北自動車道 下衣川高架橋床版更新工事発注用図面作成	
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。